

昆虫用薬品の小分け作業及び容器保管に際してのお願い

薬品の小分け作業及び容器保管は、事故につながる恐れがあるため、以下の注意事項をお守り下さい。

- ・火気厳禁とし、換気（通気）が十分に行える場所で行う
- ・小分け作業の際に、安全ゴーグルや耐薬品性ゴム手袋などを着用することが望ましい
- ・大口缶（16L・4L）から小分けする際には、薬品が勢いよく流れでる場合があるので容器から漏れないように、注ぎ口をよく確認してゆっくりと傾けながら注ぐ
- ・移す先の容器が傾いたり倒れたりしないようにしっかりと固定して注ぐ
- ・「薬品名」「小分けした年月日」がわかるよう、小分けする容器には必ずラベルを貼る
- ・小分け後または使用後は必ず密栓して、転倒しないように破損に十分注意し、換気の良い冷暗所で保管する
- ・缶のまま長期保管しない（缶が劣化し漏れる可能性がありますので、長期保管する場合は密栓できるビン等に移して下さい）
- ・注入ノズルをつけたまま保管しない
- ・昆虫用薬品の小分け容器として、弊社で販売していない飲食物用ペットボトル・ビンなどの容器は絶対に使用しない（「誤飲」「下水に流す」「容器の破損」など、大きな事故や環境汚染につながる恐れがあります）

※各薬品（酢酸エチル・クロロホルム・キシロール）の取扱い及び保管上の注意などに関しては、昆虫用薬品ページに掲載しております、MSDS（化学物質等安全データシート）にて別途ご確認下さい。

※弊社は、下記の「昆虫用薬品ご購入に際してのお願い」をお守りいただける弊社会員の方のみ、昆虫用薬品の個人販売・発送（一部発送不可の商品があります）をさせていただきます。ご購入前に必ずご一読下さい。